

國立臺灣大學103學年度轉學生招生考試試題

題號： 17

科目： 中日對譯

題號： 17

共 / 頁之第 / 頁

[不可攜帶任何字典進入試場]

一、中譯日 (正確使用常用漢字，且漢字部分務必標示假名) (60%)

1. 5月21日在台北捷運發生「無差別」殺戮事件，造成4死24傷，震驚了整個台灣社會。(8%)
2. 他個性率直，想什麼就說什麼，因此得罪了不少人。(7%)
3. 幸好我們昨天就下山，不然今天雨下這麼大，一定會被困在山裡。(8%)
4. 我們將心比心，就原諒他吧！(7%)
5. 我知道要恢復一度失去的森林、美好環境，不是一件容易的事，不過，正因這攸關當地居民的生活與未來的幸福，無論付出多少心血也是值得的吧！(15%)
6. 本校很幸運的一直都是集結了最好的師資、最優秀的學生，同時也是大家最關注、教育行政單位投入最多的學校，希望能不負眾望，交出一份漂亮的成績。(15%)

二、日譯中 (40%)

1. 小文は一滯在者のせまいけんぶんをしるしたにすぎないが、日本とはまるでことなるげんごかんきょうにあることは、日々のくらしのなかでもわかった。えいごは日本よりずっとふきゅうしているようにみえるが、それもたいわんがおかれている状況をかえりみれば、生ぬるいがいこくごがくしゅうとはまるでことなる、せつじつなものといわねばならない。(10%)
2. 彼女は才媛のめいせいを担っていて、そなへんさつかとして文壇に打って出ることは、ほとんどだれもうたがわなかった。なかには彼女がざいがくちゅう、既にさんびやくなんまいかの自叙伝体しようせつをかきあげたなどを吹聴してあるくものもあった。が、がつこうをそつぎようしてみると、そうはわがままをいわれない、ふくざつな事情もないではなかった。(10%)
3. い学部やこう学部の教授は、そのこうぎのとちゅうにえいごや独逸語のたんごをもちいることで学問的ふんいきをつくりあげることにたくみであった。事はもとより枝葉末節にすぎない。だいがくの教授ののうりよくはそうじて、ひじょうにすぐれたものであって、さればこそ日本のぎじゅつも今日まではってんしてきたのである。学問にとって教授が外国語をこのもうとこのまないとおおきな問題ではなかった。しかし、その枝葉末節に現れているしんり的傾きそれ自身は、かならずしも枝葉末節ではない。そのしんり的傾きのある限り、日本の学問がどれほどせいようのすいじゅんに近づいても、おそらくぜんたいとしてそれを抜くことはないだろう。(20%)

試題隨卷繳回